# 大阪ミナミの〝アメリカ村〟

## 若者たちの〝こころ〟を魅了

### 路地裏が大阪版原宿に変身

〝ミナミのアメリカ村〟の誕生は、心斎橋の流れを確実に変えている。――秋晴れの日曜の今月一日、心斎橋筋は満員電車並みの人波が延々と続いていたが、周防町や道頓堀の交差点で突如、サーフ調の若者たちがこの人波を抜け出し、御堂筋を西側に横断する新しい波ができていた。

〝アメリカ村〟は「大阪ではファッションが育たない」としたり顔する、わけ知りのご託宣を裏切るように、いま大阪の若者たちの心を魅了している。

〝アメリカ村〟――正確には大阪市南区塩屋町――は心斎橋の「大丸」から御堂筋を西に渡り二百㍍の距離にある。ここにいまサーフショップ、ジーンズショップなどアメリカ輸入衣料ミニショップが十三軒、アメリカンスタイルの喫茶店やライブハウスなどを加えると、南北二百㍍の通りに、二十軒ほどの若者向きの店が点々と並んでいる。〝アメリカ村〟の名前は、訪れる若者たちが誰言うともなく命名した。わずか一年前には、しもた屋と数ヵ所の駐車場、カメラ屋、美容院などが並ぶ若者たちとは無縁なせまい路地裏したのである。大阪を知る誰もが「まさかあそこが……」と思うような街角に大阪版〝原宿〟は誕生した。しかし、ここは「まさか……」の土地だったのだろうか。

### 20代から30代前半の経営者

〝アメリカ村〟の経営者や店長は、二十代から三十代の前半で、ほとんどが泉大津、岸和田、堺といった大阪府南部の生まれである。彼らの生い立ちは〝アメリカ村〟のファッション・センスとオーバー・ラップしている。〝アメリカ村〟の開拓者「アワー・ハウス」の金沢照雄君(三九)が育った泉大津は、彼の仕入れ先であるアメリカ西海岸、とくにカリフォルニアの風土とよく似ているという。カラッとして、自由で、素朴で、荒けずりで……。だから大阪南部では、もう十年以上前から裏い陽ざしの下の荒っぽいサーフィン遊びが盛んだったそうで、サーフィン・チームをつくりながら、いつのまにかファッションを広げる素地を育ててきたらしい。

金沢君は三年前から〝アメリカ村〟にカリフォルニアから仕入れたネルシャツとジーンズ中心の古着屋を開いた。当時、アメリカ二百年祭に日本は沸き、ロック・コンサートがよく開かれた。周りの若者が、ロック・ミュージシャンの習こなすアメリカ西海岸ファッションに染まりはじめたからだ。ただ金沢君が多分経済的制約からはじめた古着屋がかえって〝アメリカ村〟の大阪的アット・ホームの特徴を生み出したことを忘れてはなるまい。

### 住人はVAN世代の申し子

大阪南部はいまも大家族主義的風土が残っている。「トランス・パック」の西村浩斉君三〇の話では、東京は非日常的なファッションの世界がファッションの主流だが、大阪ではふだん着的日常生活にファッションの主流が求められる。それを西村君は大阪人のバランス感覚重視と呼ぶが、子供のころから「オモロイカッコウするな」「ケッタイナカッコウするな」としつけられたことが骨身にしみているからだそうだ。

大塚融

西村君をはじめ〝アメリカ村〟の住人は、かつて「VAN」のアイビールック（アメリカ東海岸）で育っている。VAN世代の最先端だったと自認する西村君は、いま「アイビールックのようなビッタリきめたスタイルは東京風、ヨーロッパ風で、どうも大阪には合わない気がする。大阪の風土には、いったん決めたスタイルを自分流にくずす着こなしが合う」と話している。

〝アメリカ村〟の通りは西部劇に登場する街並みに似ている。どの店構えも木組地に合うよう木で構成され、自然のやわらかさを生かしている。金沢君の店の看板は青空に白雲、緑樹、赤レンガのエントツが描かれているが、ペンキ屋があきれるほど淡色に塗めさせたというエピソードは、彼らのセンスの自信のほどをしのばせる。あくまで大阪南部の風土感覚に根ざそうとする。

わたしは金沢君たちがここに〝アメリカ村〟を開いたのは偶然ではないと思う。キタやミナミの盛り場は地下街やビル内、アーケード下にあって太陽からしゃ断されているが、ここでは自然の光にあふれ、色彩が生かされること、心斎橋筋が御堂筋を隔ててすぐそばにある割に地価が安いこと、そしてなによりもこの〝アメリカ村〟の磨り合わせにファッション・デザイナー、写真家、グラフィック・デザイナーの事務所が二十数軒もあるということだ。聴覚筆子さんも若林謙介さんもかつてこの一角に事務所を持っていた。

### 土着的ファッションのマチ

堺屋太一さんの話によればファッション・タウンには異国情緒とデザイナーの存在が欠かせないというが、ここはもともと一つの素地があったことになる。五年前までこの一角には「ループ」というアメリカンスタイルの喫茶店があって、デザイナーのたまり場になっていた。金沢君たちは、この「ループ」のふん囲気が好きで、なんども通ったそうだ。金沢君の生い立ちと「ループ」の結びつきは、アメリカ西海岸と地続きだったのだ。

〝アメリカ村〟の先駆者たちは、自らの生い立ちに根ざしたセンスを信ずることで、そのまま大阪の若者たちとコミュニケートする場を探り当てた。〝アメリカ村〟は大阪がはじめて生み出したネイティブ（土着的）なヤングファッションのマチである。彼らを見る既成のファッション関係者の評価は、いずれも及び腰だが、わたしは彼らを生んだ内在的論理だけは見失わないでほしいと思う。

〝アメリカ村〟だけが皮肉にもことしファッション都市宣言をした大阪商工会議所の取材だからだ。

わたしが〝アメリカ村〟を〝ニ

◇おことわり　「あす日」「BOOK」休みます。

ニュースセンター9時〟で紹介したのは、皮肉なことにVANの倒産が伝えられた数日後だった。あの時は〝アメリカ村〟の若者たちがVAN世代の申し子だったということを知らなかったが、全く偶然なことに、あのニュースにはわたしの意図しなかった象徴的な意味があったわけだ。〝アメリカ村〟の一角にはいまもVAN大阪事務所の看板がある。わたしは「故郷に入れられなかった亡者」石津謙介さんがいつかこの看板の前に立って「ミナミ」が生んだ土着的ファッション世代とコミュニケートする姿を想像するのである。

（NHK近畿本部報道部）

## スケジュール

ニューヨークADC優秀作品発表会　▽東京は17日（内幸町のイイノホール）、大阪は19日（吹田市の毎日放送ミリカホール）にそれぞれ午後1時30分～4時30分。最近のアメリカテレビCFとADC選出テレビCFの上映と講評。主催・毎日放送。電話(213)1611（東京支社ネットワーク業務部）。

## タイムテスト

番組センター　9月号▽〝ふるさとわが町〟のスタートに当たって▽〝タレントを育て論〟のスタートに当たって▽〝京に生きる〟紹介ほか。放送番組センター。

## 広告文化

【新聞広告部門】◇医薬品・化粧品・雑貨／優秀賞＝花王石鹸◇百貨店・流通／最優秀賞＝イトーヨーカドー（コート）「袖で「ちょっと」なるこの日本。」全7段、優秀賞＝地域広告賞・愛媛県（地震対策）◇シリーズ最優秀賞＝香川県（7点）「まさか、自分に限って」

【雑誌広告部門】◇総理府（防災販売知識）東京都（地震対策）◇電機音響・機器／最優秀賞＝ザキナビスコ（リッツクラッカー）◇電機音響・機器／最優秀賞＝トーヨーサッシ（二重サッシ）◇出版・精密機器・事務機器／